

平成29年5月

AICS 検査報告書変更のご案内

謹啓 時下益々ご隆盛のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目におきまして、検査委託先より報告書の内容を変更する旨の連絡がございました。

下記の期日をもちまして、新たな AICS 専用報告書へ切り替えさせていただきますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

敬 白

記

《検査項目》

〔3791〕 男性 AICS(5 種)

〔3797〕 女性 AICS(6 種)

《変 更 日》 平成 29 年 5 月 18 日（木）ご報告分より

《変更内容》 詳細は裏面をご参照ください。



《報告書內容比較》

變更後

[illegible]

アミノインデックス®
がんリスクスクリーニング(AICS®)の解説

検査結果(AICS値とランク)について

AICS値は、それぞれのがんについて、現在がんである可能性を、0.0～10.0の数値で報告しています。数値が高いほど、現在がんである可能性が高くなります。現在がんである可能性を判断する目安として、A、B、Cの3つのランクに分断しています。AICS®では、ランクA→ランクB→ランクCの順番で現在がんである可能性が高くなります。

全ラウンドでの最も多い得点 (回率)		がんでも多い得点 (回率)		
AICS分類		低い	ランクB	ランクC
AICS値		0.0~4.9	5.0~7.9	8.0~10.0
項目	がん人種			
AICS(胃)	胃がん	1/3,200[0.3]B	1/625[1.6]B	1/98[10.2]B
AICS(胃)	大腸がん	1/2,963[0.3]B	1/536[1.9]B	1/1119[0.8]B
AICS(大腸)	大腸がん	1/2,000[0.5]B	1/789[1.3]B	1/122[8.1]B
AICS(大腸)	膵臓がん	1/3,478[0.3]B	1/789[1.3]B	1/86[11.6]B
AICS(食道)	食道がん	1/2,222[0.5]B	1/469[2.1]B	1/156[6.4]B
AICS(食道)	乳がん	1/1,509[0.7]B	1/556[1.8]B	1/250[4.0]B
AICS(子宮内膜)	子宮がん・卵巣がん	1/4,000[0.3]B	1/682[1.5]B	1/68[11.6]B

上の表が、がんである確率をラングで10,000に10A(1/1000)とした場合の、がんである可能性
 出典: 国勢調査 年齢別がん罹患率 26(3):454-466(2011)年 編集: 株式会社社会と経済プロジェクト 提供

上の表は、がん種ごとに、がんであるおよその確率をラング列に示したもので、一般的に、10,000人に約100人(約1.0%)が、がんであると言われていた。例えばAに5(5%)では、胃がんのラングB(一般のがんが、胃がんである確率を10,000に1とした場合)に比べて、ラングBに3,200人に1人が、ラングBでは625人に1人が、ラングBでは98人に1人が、胃がんであることを示しています。

【注】内訳は一般のがん有病率とした場合の、がんである確率を示しています。

AICS₂について更に詳しい内容はこちらから

●スマートフォンやタブレットからはこちら▶▶▶

●PCからはこちら▶▶▶ <http://report.aminoindex.jp/>

このコンテンツをご覧になる際には、下記の閲覧用パスコードを入力してください。

閲覧用パスコード:amino

变更前

aminoindex		アミノインデックス,報告書AICS		X1X1XXXXXX X1XXXXXX	X1XXXXXX
アミノインデックス					
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		病	X1X1 XXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
材料	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	測定日	XXXX年 XX月 XX日	施設名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
		性別	XXXX年 XX月 XX日	科	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
		年齢	XXXX年 XX月 XX日	科	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
実施日	XXXXXXXXXXXX	結果日	XXXX年 XX月 XX日	医師	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

アミノインデックスとは、血液中の各種アミノ酸濃度から、健康状態や疾病の可能性を明らかにする技術を活用した解析サービスです。がんに関連しているリスクを評価する検査が、アミノインデックスががんリスクスクリーニングです。がんに関連している発症率を算出し、AICS倍値と数値化しています。

AICS = アミノインデックス,がんリスクスクリーニング (AminoIndex, Cancer Screening)

項目	検査結果 ^{GO}	ランクA ⁵⁰	ランクB ⁶⁰	ランクC ⁷⁰
XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	*		
XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	*		
XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	*		
XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	*		
XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	*		
XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	*		
XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	*		
XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	*		

AICSは、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がんが最も高いスコアで、前立腺がんは40倍の一割、子宮がん(子宮頸がん、子宮体がん)は40倍の一割、胆道系がん(肝臓がん、胆管がん)は対照として設定された基準です。これらのほかにもAICS値は評価対象となります。

検査結果区分	基準範囲	有病率	各々のランクでの有病割合 ※
ランクA	0.0-4.9	0.03~0.07%	8,000人に2.0-5.3人
ランクB	5.0-7.9	0.13~0.21%	1,500人に1.9-3.2人
ランクC	8.0-10.0	0.40~1.16%	500人に2.0-5.8人

※ がんの総有病率は約1% (10,000人に10人) とした場合、それぞれのランクで想定される有病率を示す概算であり実際の数に差異が生じます。

AICSは、検査内容やテストの種類によって異なります。がんに関連しているリスクを評価するものであり、がんの有無を診断する検査ではありません。したがって、検査結果が仮「ランクC」でも、がんに関連していないとはいっても大丈夫です。また、「ランクC」であっても、必ずしも、がんに関連している者ではありません。AICSは、そのほかの検査結果と合わせて総合的に判断されるものです。本検査結果の解釈や今後の管理検査に関することは、医師にご相談ください。

コメント

XX

発行所名称：株式会社
アミノインデックスは、株式会社が発行した解析サービスです
(aminoindex) は、株式会社の商品です

 株式会社 aminoindex
〒113-8535 東京都文京区小塚5丁目1番地

TEL03-4466-04-H278

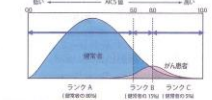
AICSの概要

ここに記載された内容については、「アミノインデックス報告書AIDSの見方」に詳しい説明があります。

検査結果区分の定義

AICSではがんに関連している臓器をAICS値として表現しています。各がん状態に対して特異度が90%となるAICS値を5.0、特異度が50%となるAICS値を8.0、最小値を0.0、最大値が10.0となるように設定しています。

また、AICS値が5.0未満の場合をランダム、5.0以上8.0未満の場合をランダムB、8.0以上の場合をランダムCと設定しています。



検査の評価に用いた症例数

	2009	2010
男がん	197	135
婦がん	327	181
大腸がん	280	149
胃立腹がん	146	103
乳がん	165	147
注: がん=悪性新生物	246	229

南「早瀬がん」はステージが窄いしはびさまでの座席を示します。

検査の感度、特異度、陽性的中感

	AICM (0.01)			AICM (0.05)		
	0.01	0.05	0.10	0.01	0.05	0.10
AICM (0.01)	80%	75%	63%	90%	83%	69%

AICS(大)	80%	77%	82%	50%	47%	0.60%
AICS(中)	80%	68%	0.25%	95%	91%	0.68%
AICS(小)	85%	64%	0.25%	95%	92%	0.15%
AICS(利用)	80%	47%	0.19%	95%	20%	0.13%
統計学(大)	80%	80%	0.22%	95%	50%	0.60%

※ 統計学の中身の調査には有資格者の代わりに2006年の認定歴歴者(認定人研究センターが対象調査対象)と集約したデータを用いた。また、認定歴歴者(認定人研究センター)は1979年(2006年)全国調査(認定歴歴者認定者)を使用。

※ 子宮がん、卵巣がんの罹患率は、子宮がんは上皮内がんを含むと推定されるが、本調査の分析は使用。

各がん種ごとの偽陰性率

	ALL NEW TOTAL PROFIT (100%)	ALL NEW TOTAL LOSS (100%)
胃がん	25%	49%
肺がん	27%	55%
大腸がん	40%	59%
前立腺がん	36%	68%
乳がん	53%	80%
子宮がん・卵巣がん	33%	42%

附註

用語の解説

感 度：がん患者を正しくがん患者と判定できる率です。
特異性：健康者を正しく健康者と判定できる率です。
陽性的中率：検査結果が陽性であった場合、
本当にがんに罹患していた率です。
偽陰性率：がんに罹患しているが、
検査結果が陰性になる率です。

AICS検査上の注意事項

AICS検査上の注意事項

- ・検査室の待合室内に、床以外（食事、サブリメント等）は置かないで、床中に面直ししてください。
- ・検体は正確に採集されている方、採集中の方、がん患者（治療中も含む）の方、検体と検体間消毒の方、検体運送の方は、AICS用紙と立券が揃った方を検体は受け取れません。
- ・AICSは、90歳、がん、大腸がん、乳がんは22歳～90歳、血立券は10歳～90歳、胃がん、子宮がん、子宮体がん、血立券は1歳～80歳～100歳の日本人に採集されている方を必ずしも対象とし、商業された検体です、これらの方以外の方のAICSは採集対象外となります。
- ・血尿（EDTA・2Na）以外の材料は必ず拭き取ってください。
- ・検体の量は、検体1管を必ず検体としてください。

参考文献

監修：岡本直幸（神奈川県立がんセンター）

監修：岡本直幸（神奈川県立がんセンター臨床研究部）